

# 第10回管理職等アンケート

# 管理職員の声をアンケートに託そう

7月～8月に取り組み



NO. 276  
2016. 7. 4

発行 国土交通省管理職ユニオン  
所在地 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-2 中央合同庁舎 2号館  
TEL 03-3509-1138  
Eメール k-union@alpha.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.k-union.network/

あなたも  
ユニオンへ

## 5, 6昇格、深夜勤務手当新設など 管理職員の処遇改善実現の力

国土交通省管理職ユニオンは、国土交通省（旧建設）の本省、地方整備局、国土土地院等に勤務する管理職員等を対象に、1998年（H10年）の結成以来、2年に1回「管理職等アンケート」を実施しています。今年も100回目の取り組みとして、7月から8月の2ヶ月間取り組みます。

国土交通省に働く多くの管理職員は、仕事と処遇や将来の生活についての不満や不安と要求を持ちながらも、管理職員だからということでも、もの申すことも出せずにひたすら耐えざるを得ないという実態が長く続いてきました。

私たちは、こうした管理職員の想いや悩みをアンケートで把握して、これらを基に要求として取りまとめ、国土交通省、人事院、内閣人事局に要求書を提出し、アンケートで出された切実な「想い」や「声」を示しながら、管理職員の処遇改善を追及しています。

これまで「定年退職者の退職前の6級昇格、事務所課長・出張所長5級定数の大幅増、強制的・組織的な「若年勧奨」の中止、管理職経験のある再任用者の4級・5級昇格、管理職特別勤務手当（休祭日勤務・平日の深夜に勤務したもの）の支給など要求を前進させてきています。

しかし、内閣人事局や人事院は政府の「人も給与も減らす公務員賃金の総抑制政策」にそって、公務員制度の見直しと称して、退職金の大幅引き下げ、50歳台後半の職員の給与引き下げ、寒冷地手当の切り下げ、

昇給・昇格の抑制、そして職場の実態を無視した定員削減を行っています。

また、安倍自民・公明連立政権は、消費税の増税を柱に国民生活を大きく切り下げる政策を強引に押し進めるとともに、連年にわたる定員削減の為、国民サービスの下下や技術と経験の継承が進まない職場には、

人事院も注目  
当局も注目

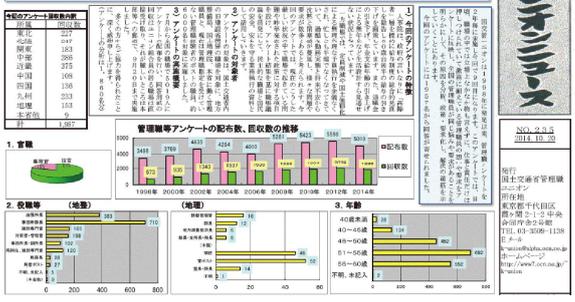
国土強靱化政策と消費税増税による景気の悪化を回避することを目指す大型補正予算の執行などを押しつけ、職員は一層の健康被害と労働強化が強いられています。

今回のアンケートではこうした業務執行上での問題点、将来の生活設計などの職場の気分や感情を把握することも目的の一つとして取り組むものです。

このアンケートは管理職員等を対象にしているということから、日本国内でも余り例がないということもあり、国交省当局や人事院も注目するものとなっています。

職場では次から次へと難局が押し寄せ過重な業務に追いつけられ、将来も見通せず、沈黙と閉塞感が蔓延してしまいが、私たちはこんな時だからこそ毅然として職場の意志を示すことが必要と考えています。

2014年管理職員等アンケート 〈回答数は1,957名〉  
過酷な勤務実態や、定年延長など60歳以降の不安が浮き彫りに！  
深夜勤務70%の人が無給！ 59%の人が健康に不安！



管理職アンケート  
集約数

年	計
1998	655
2000	932
2002	1343
2004	1532
2006	1632
2008	1827
2010	1888
2012	2058
2014	1957

管理職員等の皆さん  
のご協力を、ぜひ  
願います。

前回のアンケート特集号



発行 国土交通省管理職ユニオン  
所在地 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-2 中央合同庁舎 2号館  
TEL 03-3509-1138  
Eメール k-union@alpha.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.k-union.network/

